



◇指導のねらい

- 自分の名前が分かる。
- 教科名とシンボルの対応ができる。
- 同じ文字と文字を対応させることができる。

◇基本の使い方

- ・ 自分の名前や教科名等、単語のカードを同じもの2つずつ用意し、単語でのマッチングを行っていく。
- ・ 単語でマッチングができるようになってきたら、見本を見ながら、ホワイトボードに書いてある枠の中に、一文字ずつ当てはめていく。(できるようになったら見本を外す)
- ・ どの段階でも、完成した後は写真を見ながら教師と一緒に読み方を確認する。

◇指導の評価

- ① 文字カードに発砲スチロール性のカラーボードを使用し、子どもの手でもつまみやすくしたことで、文字を並べる活動に意欲的に取り組むことができた。
- ② 見本を注意深く見ながら、同じように並べることができた。
- ③ 継続して行うことで、見本を見なくても自分の名前が並べ替えられるようになった。